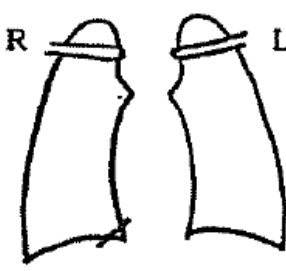


肺がん検診票

フリガナ 氏 名			性 別	男・ 女	生年 月 日	M.T.S.H 年 月 日 (歳)
住 所	電話番号 (-)					
検診歴	1. なし 2. あり 前回受診状況 (受診年月 年 月) 受診機関名 () 胸部レントゲン写真の結果 ①異常なし ②異常あり 喀痰検査 1) 実施せず 2) 実施した 結果①異常なし ②異常あり					
既往歴	1. なし 2. あり 1) 肺がん 2) 肺結核 3) 肺炎 4) 喘息 5) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 6) じん肺 7) その他 ()					
自 覚 症 状	・最近咳が出ますか。 1. よくでる 2. 時々でる 3. でない ・最近痰が出ますか。 1. よくでる 2. 時々でる 3. でない ・6か月以内に痰に血が混じったことがありますか。 1. ある 2. ない ・最近胸が痛みますか。 1. よく痛む 2. 時々痛む 3. 痛まない ・最近息切れがしますか。 1. よくする 2. 時々する 3. しない ・その他の気になる症状がありますか。 ()					
喫煙歴	1. 吸う 1日平均 () 本×喫煙期間 () 年=B I 指数 () 2. やめた () 年前からやめた 3. 吸わない					
石綿作業等 の従事歴	・仕事で石綿 (アスベスト) に関わる作業経験はありますか。 1. ある (年間) 2. ない ・仕事で粉じん作業に関わる作業経験はありますか。 1. ある (年間) 2. ない ・仕事で特殊健診を要する業務に関わる作業経験はありますか。 1. ある (年間) 2. ない					
女性のみ	・現在妊娠している、又は妊娠の可能性がありますか。 1. ある 妊娠週数 (週)、 最終月経 (年 月 日) 2. ない					
胸部 エ ッ ク ス 線 撮 影	所 見		判 定		読影年月日 平成 年 月 日	
			A 読影不能 B 異常なし C 精検不要 D 要検査 ①活動性肺結核疑い ②活動性非結核性病変疑い ③循環器疾患疑い ④その他 E 要精検 ①肺がんの疑いを否定しえない ②肺がんを強く疑う		比較読影 不要 実施 未実施	
					読影委員会印	
喀 痰 細 胞 診	検査要否	細胞診結果				
	①要 ②不要 ③必要だが 拒否	判 定	A 材料不適 B 異常なし C 追跡 D 要精検 E 至急精検		A 材料不適 B 異常なし C 追跡 D 要精検 E 至急精検	
		所 見				
	実施機関 ()		担当CT名 ()		担当MD名 ()	
総合判定	1. 異常認めず 2. 精検不要 3. 再検査[肺・心臓・痰 (①A判定 ②C判定)] 4. 要精検					
受診年月日	平成 年 月 日		検診医療機関		検診医師名	

「たん」の検査を受けられる人へ！

- ・ 気管支部分のがんを発見するのに有効な検査です。
- ・ 早朝起床時の「たん」を3日分検査します。
- ・ 「たん」は気管支などのゴミ（気道分泌物）ですから必ず出ます。

（容器の取扱い及び注意事項）

- 1 中の液は「たん」を溶かし、固定するのに必要な保存液です。危険なものではありませんが、飲まないでください。
- 2 直射日光を避け、涼しいところ（冷暗所）に保管してください。
- 3 受診の5日ぐらい前から、早朝起床時の「たん」を3日間分採ります。つばや鼻汁のみでは検査できません。

（手 順）

- 1 容器の中ぶたを必ずはがしておきます。
- 2 軽く口をすすぎ、口の中をきれいにします。
- 3 強く咳ばらいをして、のどの奥から「たん」を出し、容器の中に入れます。
- 4 液がもれないようにしっかりとふたを閉め、20回くらい強く振ります。

※ 2～4の動作を3日間くり返します。

※ 朝の「たん」が出ない人は、次の動作を試してみてください。（昼間の「たん」でもよい。）

- 1 めるま湯でうがいをし、上半身の軽い体操をします。
（腕をぐるぐる回す、首を動かす等）
- 2 口を大きく開き、深呼吸をします。
- 3 図のように口から湯気を吸いこんでみます。
- 4 のどの奥から出すように、強く咳ばらいをします。



平成 年 月 日

様

市 町 村 名

肺がん検診結果のお知らせ

先日あなたが受けられました肺がん検診の結果、精密検査を受けられるようお勧めします。

なお、精密検査をお受けになるときは、別紙の名簿のうち、希望される病院に前もって検査の日時などをご相談の上、その指示によって検査を受けてください。

また、検査当日は、次のことに気をつけてください。

- ※ 同封の紹介状をお忘れなく主治医に提出してください。
- ※ 保険証を必ず持参してください。

※ この通知を受け取られた方は、肺に何らかの病気が疑われる方です。しかし、精密検査の結果、異常のない場合もありますので、念のため申し添えます。

平成 年 月 日

様

市 町 村 名

結核・肺がん検診結果のお知らせ

先日あなたが受けられましたエックス線直接撮影の結果、肺の異常は認められませんでした。が、心臓疾患の疑いで検査を必要とします。

ついては、検診を受けられました医療機関で、心疾患についての検査を受けられますようお勧めします。

平成 年 月 日

様

市 町 村 名

肺がん検診の喀痰細胞診についてのお知らせ

先日あなたが受けられました肺がん検診において提出されました喀痰は、材料不適（痰があまり含まれていなかった等の理由）のため、検査が実施できませんでした。

については、下記により、再度検査を受けられますようお勧めします。

記

- 1 検査受付
- 2 検査料金
- 3 検体提出先

平成 年 月 日

様

市 町 村 名

肺がん検診の喀痰細胞診の結果のお知らせ

先日あなたが受けられました肺がん検診の結果、胸部エックス線撮影では異常は認められませんでした。が、喀痰細胞診で、一部注意を要する細胞が見つかりました。

ついては、念のため来年の肺がん検診の喀痰細胞診を必ず受診されるようお勧めいたします。

なお、たばこを吸っている人は、減らすように努力しましょう。

また、次回検診までに咳や痰がよく出る等変わったことがあれば早めに受診してください。

肺がん検診における胸部エックス線写真の判定基準と指導区分

二重読影時の 仮判定区分	比較読影後の 決定判定区分	エックス線所見	二重読影時の 仮指導区分	比較読影後の 決定指導区分
a	A	「読影不能」 撮影条件不良、現象処理不良、位置付不良、フィルムのキズ、 アーチファクトなどで読影不能のもの。	再撮影	
b	B	「異常所見を認めない」 正常重型（心膜傍脂肪組織、横隔膜のテント状・穹窿状変形、 胸膜下脂肪組織による随伴陰影、右心縁の二重陰影など）を含む。	定期検診	
c	C	「異常所見を認めるが精査を必要としない」 陳旧性病変、石灰化陰影、繊維性変化、気管支拡張像、気腫性 変化、術後変化、治療を要しない奇形などで、精査や治療を必要 としない、あるいは急いで行う必要がないと判定できる陰影。		
d	D	「異常所見を認め、肺癌以外の疾患で治療を要する状態が考えら れる」 肺癌以外の疾患を疑うが、急いで精密検査や治療を行わない と、本人や周囲の人間に大きな不利益があるようなもの。疾患が 疑われても急いで精査や治療を必要としない場合には「C」と判 定する。肺癌を少しでも疑う場合には「E」に分類する。肺がん 検診としての「スクリーニング陽性」は「E」のみである（下記 注を参照のこと）。	比較読影	肺癌以外の 該当疾患に 対する精査
d1	D1	「活動性肺結核」 治療を要する肺結核を疑う。		
d2	D2	「活動性非結核性肺病変」 肺炎、気胸など治療を要する状態を疑う。		
d3	D3	「循環器疾患」 大静脈瘤など心大血管異常で治療を要する状態を疑う。		
d4	D4	「その他」 縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、胸膜腫瘍など治療を要する状態を疑う。		
e	E	「肺癌の疑い」 孤立性陰性、陳旧性病変に新しい陰影が出現、肺門部の異常（腫 瘍影、血管・気管支などの肺門構造の偏位など）、気管支の狭窄・ 閉塞による二次変化（肺炎・無気肺など）、その他肺癌を疑う所見。 したがって「E」には、肺炎や胸膜炎の一部も含まれることにな る。転移性肺腫瘍を疑う所見は「E」に分類する（ただし、転移 性肺腫瘍は発見肺癌には含めない）。「E2」の場合には、至急呼び 出しによる受診勧奨なども含め、精密検査に関する受診勧奨をよ り強く行うことが望ましい。		肺癌に 対する精査
e1	E1	「肺癌の疑いを否定し得ない」		
e2	E2	「肺癌を強く疑う」		

注1) 比較読影後の決定指導区分において、E1判定とは、きわめてわずかでも肺癌を疑うものを意味し、E2判定とは、肺癌を強く疑うものを意味する。一方、D判定は、肺癌以外の疾患を疑うものを意味する。

2) 肺がん検診の胸部X線検査における要精検者とは、比較読影を含む決定指導区分におけるE1およびE2を指す。

3) 比較読影後の決定指導区分におけるD判定は肺がん検診としての要精検者とは認めない

4) 肺がん検診における胸部X線検査での要精検者数とは、E1とE2の合計数を意味する。

5) 肺がん検診における肺癌確診患者数（検診発見肺癌）とは、E1およびE2判定となった要精検者の中から原発性肺癌と確診された患者数を意味する。

6) したがって、D判定者の中から肺癌が発見されたとしても、検診発見肺癌とは認めない。

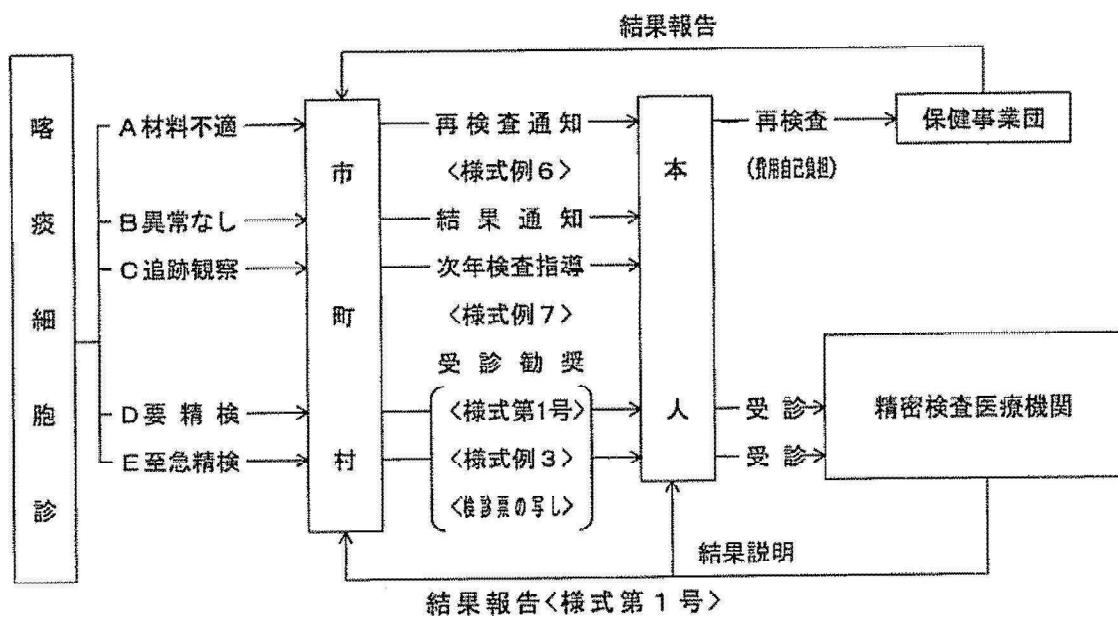
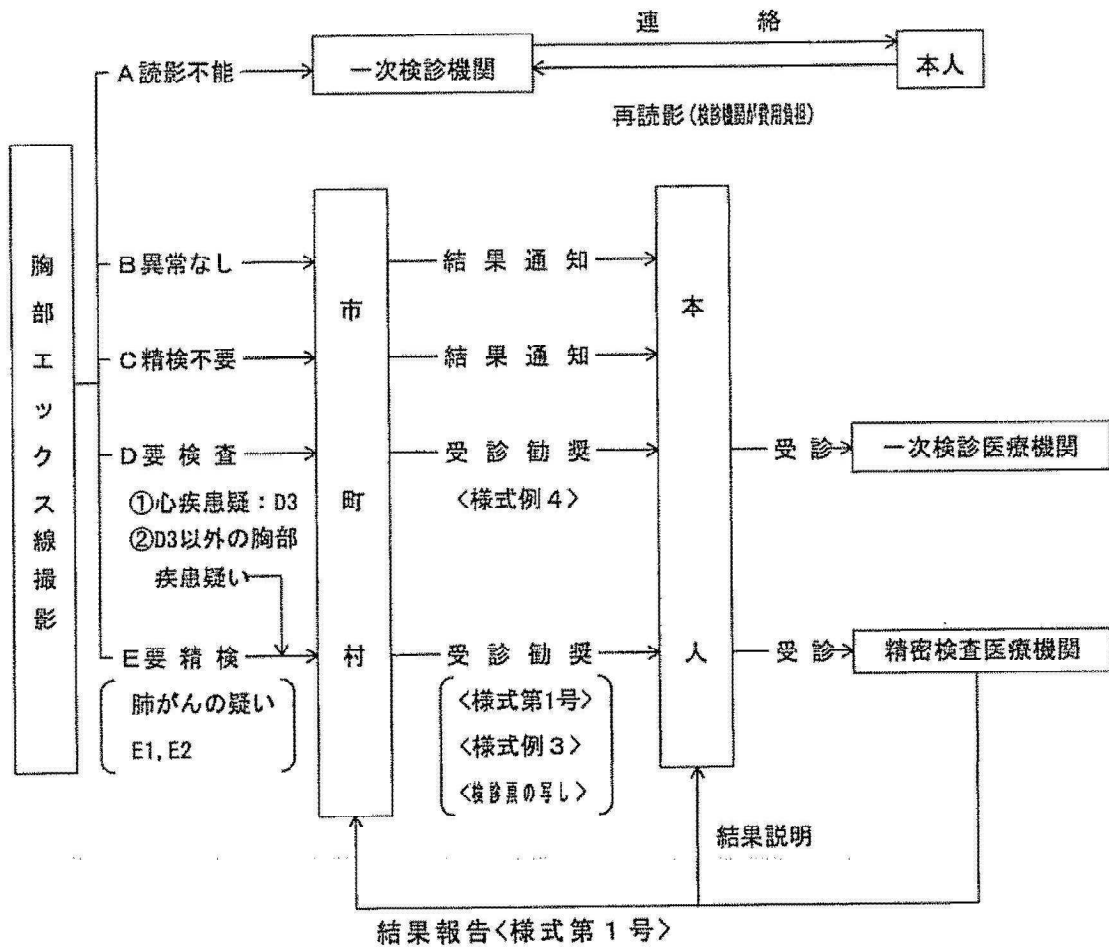
集団検診における喀痰細胞診の判定区分と指導区分

判定区分	細胞所見	指導区分
A	喀痰中に組織球を認めない。	材料不適、再検査
B	正常上皮細胞のみ 基底細胞増生 軽度異型扁平上皮細胞 繊毛円柱上皮細胞	現在異常を認めない。 次回定期検査
C	中等度異型扁平上皮細胞 核の増大や濃染を伴う円柱上皮細胞	程度に応じて6か月 以内の追加検査と追跡
D	高度（境界）異型扁平上皮細胞または 悪性腫瘍の疑いある細胞を認める。	ただちに精密検査
E	悪性腫瘍細胞を認める。	

- 【注】
- 1) 個々の細胞でなく、喀痰1検体の全標本に関する総合判定である。
 - 2) 全標本上の細胞異型の最も高度な部分によって判定するが、異型細胞少数例では再検査を考慮する。
 - 3) 扁平上皮細胞の異型度の判定は異型扁平上皮細胞の判定基準写真を参照して行う。
 - 4) 再検査とは検体が喀痰ではない場合に再度検査を行うことを意味する。
 - 5) 追加検査とはC判定の場合に喀痰検査を追加して行うことを意味する。
 - 6) 再検査や追加検査が困難なときには、次回定期検査の受診を勧める。

肺がん検診結果通知・事後指導フローチャート

(医療機関検診)



※お願い

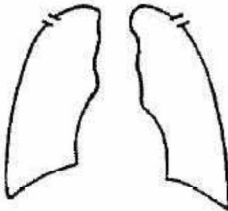
平素から肺がん検診に御理解、御協力をいただき、ありがとうございます。検診結果は次のとおりでしたので、精密検査をお願いします。つきましては、御面倒ですが、精密検査の結果を御記入の上、御返送いただきますようお願いいたします。

胸部精密検査紹介状

担 当 医 様

平成 年 月 日

市町村名

1 一次検診結果		検診機関名 ()	
検 診 月 日			[判定区分] A B C D1 D2 D3 D4 E1 E2
直 接 フィルムNo.			
ふ り が な 氏 名	男・女		
生 年 月 日	M・T・S (歳)		
住 所			
B I		(2) 喀痰細胞診断	
自 覚 症		[判定区分]	A B C D E

2 精 検 結 果

診 断 名 () ・ 異常を認めず

(1) 診断方法

- ① 胸部直接撮影 ② C・T ③ 気管支鏡 ④ 経皮針生検
 ⑤ 胸腔鏡 ⑥ 細胞診 ⑦ 組織診 ⑧ その他 ()

(2) 腫瘍占拠部位

(3) 細胞診 O I II IIIa IIIb IV V または A B C D E

(4) 組織分類

- ① 扁平上皮癌 ② 腺 癌 ③ 小細胞癌 ④ 大細胞癌
 ⑤ その他の組織型

(5) T N M分類

第7版 T:TX T0 Tis T1a T1b T2a T2b T3 T4 N:NO N1 N2 N3 M:M0 M1a M1b

第8版 T:TX T0 Tis Tmi T1a T1b T1c T2a T2b T3 T4 N:NO N1 N2 N3 M:M0 M1a M1b M1c

(6) Stage分類

第7版 潜伏 0 IA IB IIA IIB IIIA IIIB IV

第8版 潜伏 0 IA1 IA2 IA3 IB IIA IIB IIIA IIIB IIIC IV

(7) 治療方針

- ① 手 術 ② 放射線治療 ③ 薬物療法 ④ 経過観察
 ⑤ 放 置 ⑥ その他 ()

精 検 年 月 日 平成 年 月 日 来 院 年 月 日 平成 年 月 日

精密医療機関
(担 当 医)

他の診療科や他機関へ紹介された場合は、その診療科や機関名を記入し、この紹介状を引き継いでください。
 また、紹介を受けた担当医は氏名を記入してください。

	診療科名・機関名	担 当 医
初 診		
紹介先		
紹介先		

市町村名()

[illegible]

市町村名()

[illegible][illegible]

(3) 喀痰細胞診のみの受診者

市町村名()

[illegible]